

第6回 野津原中学校区適正配置地域協議会 会議要旨

日時：平成 27 年 4 月 30 日（木）19:00～20:30

場所：野津原市民センター 大会議室

○出席者 26 名

1. 開会のことば

・秦副会長より、開会のことば。

2. 出席者自己紹介

3. 会長あいさつ

・分藤会長より、開催にあたってのあいさつ。

4. 議事

1 平成 26 年度の取り組みについて

(1) 協議経過について

(2) 予想される日程（案）について

・事務局より、今まで行ってきた協議の内容や今後の日程（案）等について説明。

<主な質疑応答・意見>

【委 員】状況に応じて学校名、校章・校歌の検討とあるが、まだ検討している段階なのか。

【事務局】3校統合となったときに、学校名等を変えてもいいのではないかという話も出ていたが、最終的にどうするかという決定まではできていないので、今後協議していただければと思う。

【委 員】今日集まっているのは、主にPTAや保護者の方なので、まずは私達がどうすべきか考えてやっていかなければならないのではないかと考えている。

2 統合に伴う通学支援について

(1) 通学支援に関する教育委員会の基本方針について

・専門委員より通学支援に関する教育委員会の基本方針について説明する。

(2) 質疑

【委 員】通学支援について、今は一旦保護者が支払ってから申請をし、支給されるというシステムだが、幼稚園のときと同じように通学補完をつけるとかこちらが一切支払いをすることがないというような処置は取れないか。

【専門委員】路線バスの運賃補助であれば、こちらで定期券を購入し現物を渡すことはできる。しかし、燃料費については燃料の単価というものもあるので前渡しは難しいかと思う。

【委 員】支援については、統合年度から12年とあるが、これを伸ばしてはどうかという話が出たらどうするのか。

- 【事務局】統合してから3～6年であれば子ども達もそこに学校があったということがわかっているので、特別な支援を受けられることを理解できると思う。しかし、12年も経過すればそうしたことがわからなくなり、支援を受けられない子どもや親は不公平だと感じるようになるだろう。こうしたことも考慮して、統合時の0歳児までを対象にするという考え方になっている。
- 【委員】遠距離通学になってくるので、生活時間が早まり子どもに負担がかかるのではないか。特に低学年の子どもにはかなりの負担だと思う。
- 【事務局】文科省の手引きでは、小学校の通学時間はおおむね1時間の範囲内となっている。西部小校区からのつはるこども園に通っている方もいると思うが、それでも大体1時間以内ということで考えられるのではないだろうか。
- 【委員】通学の支援方法が3つ挙げられており、申請を出していれば慣れるまでは自家用車で送迎というのも可能ということなので、家庭で対応ができるのではないだろうか。
- 【専門委員】登校時間等の学校の校時については校長が定めるので、朝の時間を下げて昼休みを少し減らすというようにやり方はいろいろあると思う。準備の中で話し合いをし、一番無理のない形ですればいいのではないか。
- 【委員】スクールタクシー等で事故に遭遇した場合の補償はあるのか。
- 【専門委員】タクシー会社等で自動車保険に入っているので、その中の搭乗者保険という形で補償となる。

3 平成27年度の取り組みについて

- (1) 地域協議会について
- (2) 協議スケジュール(案)について
 - ・事務局より、平成27年度の取り組みやスケジュールについて説明する。
- (3) 質疑・協議

- 【委員】協議時間については19時～20時30分を基本とするということだが、話が長引いたりすればこの限りではないということではいいか。
- 【事務局】協議の内容によって必要であれば、時間を延ばしたり、臨時で協議会を開くということも考えられる。
- 【委員】協議の内容については協議会だよりにまとめられているが、それを全戸配布してもらうことはできないか。
- 【事務局】全戸配布となると枚数が莫大なものになり難しいかと思うので、回覧板でさせていただいている。
- 【委員】各自治区で印刷して、自治区の人に配布するのはいいのか。
- 【事務局】自治会の方でそう判断したのであれば、それは構わない。大分市のホームページにものせてあるので、そこで見るとも可能ではある。
- 【委員】閉校にかかる協議については各校区が主として動くということではいいか。
- 【事務局】閉校記念式典や記念碑等をどうするかというようなことについては、各校区で考えていただくということではいい。
- 【委員】子ども達への説明については、学校の先生に考えてもらうということにな

るのか。この場でどう伝えていくかを考えなくても良いのか。

【専門委員】子どもの気持ちや状況というものも異なると思われるので、一律に文言をそろえて伝えるというのは難しいと思う。基本的には各学校で子ども達の様子を見ながら話をしてもらおうようお願いするのがよいかと思っている。

【専門委員】木佐上の時、こうぎき小への統合前には、いきなり統合というのは難しいということで交流授業を行っていた。その際、教育委員会にも支援してほしいとの要請があったので、移手段の獲得等に努めた。学校でこういった形で統合校に入っていくのが理想的かを考え、教育委員会で支援できることがあれば協力していきたいと考えている。

【委員】子ども達にどう説明するかという話が出ていたが、協議会だよりでは文字が多く読むのが大変だと思う人もいるかと思う。もう少しわかりやすいパンフレットのようなものを出す予定はないのか。

【事務局】報告書を提出していただき、個別の実施計画を教育委員会で策定した後に出すことは可能かと思う。先行している碩田校区では、実施計画を作った段階でその内容についてわかりやすく説明したパンフレットを作成し、全戸配布している。

- 協議会の回数について、4月～11月までの8ヶ月で6回開催することを確認した。
- 協議時間について、これまでどおり19時～20時30分を基本とすることを確認した。
- 報告書について、地域協議会での合意事項やこれまでの取組の概要、要望事項等をまとめて提出することを確認した。
- 協議内容について、平成27年度は統合の時期や方法、通学支援や地域との関係について協議を行うことを確認した。
- 平成28年度からは新たな組織を作る。統合に係る学校運営や通学等については統合準備委員会を組織して協議を行い、閉校に係る閉校記念事業や学校施設の活用等については、各校区で実行委員会を組織して協議していくことを確認した。

4 その他

- ・事務局より、地域協議会の次回の日程について説明する。

- 第7回地域協議会を6月4日（木）の19：00～20：30、野津原市民センター大会議室で開催することを確認した。

5. 閉会のことば

- ・佐藤副会長より、閉会のことば。